

根性 韌性 悟性

1. 教育を考える一言

「いま、あなたたちに必要なのは、根性、韌性、そして悟性です。」

2. 背景

これは大学入学試験の一ヶ月まえ、高校の担任の先生がみんなに対して言った言葉です。

中国では、進学するための受験競争がとても激しいです。従って、学校教育は試験でより高い点数を目指す「受験教育」で、試験は優秀な人材を選抜するためのものです。そして、過熱な試験対策、詰め込み教育、個人主義的な教育観の広がりなど、様々の問題が生じています。国は子どもの様々な素質を育み、人間形成を目指す「素質教育」を推進しているが、教育システムを変えない限り、現場での教育は何も変わらないと思われま

す。このような激しい競争社会の中で生き残るため、私たちは一所懸命勉強していました。一年以上同じような問題練習を繰り返し、ようやくゴール手前にたどり着きました。決勝まであと最後の三十日、ストレスを感じて落ち着かないとか、精神的に疲れて、無気力になりがちとか、勉強から解放されることを期待しているとか、みんなそれぞれ複雑な気持ちを抱えていたと思います。そういう私たちに対して、担任の先生はこの言葉をくれました。根性、韌性、悟性をもって、最後まで飽きず、焦らず、諦めず、みんなで一緒に頑張りましょうと話しました。

3. 考察

これは受験勉強の場でもらった言葉だが、先生は決してこれをただの受験対策として私たちに語ったのではないと思います。「根性、韌性、悟性」は、この後の人生に対しても、とても大事なことでしょ

う。これら三つのものは全て、人生の道を歩む時、常に持つべき資質だと思います。まず、「根性」とは、目標に向かい、どんなにつらくても最後までやり通すたくましい精神です。そして、「韌性」とは、外部の環境に影響されず、動揺しない心です。最後に、「悟性」とは、問題、現象に対して見通しを持てるよう、正確に理解し、判断することができる知性です。

悟性は人によって育まれる必要があるかもしれないが、根性と韌性は自分でも引き出せるものと考えています。人生の課題に直面するとき、これらのものを念頭におき、諦めず、動揺せず、問題を乗り越えようと努力していききたいと思

引用参考文献

樋田大二郎 『北京調査から教えられたこと』 学習基本調査・国際6都市調査報告書、2008年